

研究発表会

申込不要

知のつながりが目指す未来

～創造と共同による研究力の向上を目指す

「研究力の同志社大学」へ～

日時 2025年11月1日(土) 13:00～17:00

場所 同志社大学京田辺キャンパス 恵道館

プログラム

会場		恵道館 KD204 (KD202、KD203 に配信予定)					
12:30	開場						
	開会挨拶	同志社大学ハリス理化学研究所 研究発表会実行委員長／生命医科学部 准教授 貞包 浩一郎					
	講演『トピックで振り返る同志社と京田辺 —明治時代から現在まで』	同志社史資料センター 社史資料調査員 小枝 弘和					
13:00	}	トークセッション『京田辺での研究ライフ』					
14:30		 ハリス理化学研究所 助教 鈴木 祐太	 理工学部 機能分子・生命化学科 教授 北岸 宏亮	 同志社女子大学 現代社会学部 教授 塘 利枝子	 同志社国際中学校・高等学校 教諭 佐藤 亮亮	 ハリス理化学研究所 助教 榎 太一 (ファシリテーター)	
	総括	同志社大学ハリス理化学研究所 所長／理工学部 教授 出口 博之					
休憩・移動15分							
会場	KD202		KD203		KD 2階フロア	KD204	
14:45	}	助成金成果発表				部門研究 研究紹介 ポスター展示 (詳細は裏面をご確認ください)	創造科学教育 夏期研修報告会 ●挨拶／全体報告 加藤・山崎記念寄付金 運営委員会 委員長／理工学部 教授 土屋 隆生 ●学生成果報告 ●奨学金・奨励金 授与式
		『自動車運転過失致死傷罪における予見可能性の考え方に基づく自動運転車の安全性評価におけるシナリオ統合に関する研究』 理工学部 機械理工学科 准教授 中川 正夫	『流れの曲率効果の座標変換に対して共変的な応力モデリング』 理工学部 機械システム工学科 助教 稲垣 和寛				
		『準ミリ波帯アンテナ統合モジュールのための広帯域フィルタリングアンテナの積層設計』 理工学部 電子工学科 教授 大平 昌敬	『ゴール型ボールゲームのプレイヤー定量・定性評価—ルールとの関係—』 スポーツ健康科学部 教授 田附 俊一				
15:45	『月面上でのその場資源利用を指向した電解プロセスの開発』 ハリス理化学研究所 助教 鈴木 祐太	『台湾の日本語世代: 複数の教育言語を生きたナラティブ』 グローバル・コミュニケーション学部 教授 窪田 光男					
休憩15分							
16:00	}	『科学非関心層を含めた科学コミュニケーションにおける商業テレビの有効性』 ハリス理化学研究所 助教 榎 太一	『イオン液体は帯電するのか:帯電列におけるイオン液体の位置を決定する』 理工学部 機能分子・生命化学科 教授 遠藤 太佳嗣				
		『A Correlational Investigation of Naturism in the Home and Adult Mental Health in Germany and Spain』 ハリス理化学研究所 教授 Philip TROMOVITCH	『アミノ酸を基盤とする温度応答性スマートゲルの開発と高強度化』 理工学部 機能分子・生命化学科 教授 古賀 智之				
		『細胞内で合成／分解される主要なシグナリング分子である環状アデノシン—リン酸を可視化する蛍光プローブ』 生命医科学部 医生命システム学科 准教授 齋藤 直人	『酵素型錯体触媒の開発』 理工学部 機能分子・生命化学科 教授 人見 穰				

部門研究 研究紹介 ポスター展示 14:45～17:00 (場所: 恵道館 KD 2 階フロア)

	題目	所属／氏名
A 部門	宇宙資源利用に関する文理横断的研究	ハリス理化学研究所 助教 鈴木 祐太★
		理工学部 機能分子・生命化学科 助教 西村 慎之介
		宇宙航空研究開発機構 主任 / ニュースペース国際戦略研究所 理事 岩渕 泰晶
		学習支援・教育開発センター 助教 趙 智英
		理工学部 環境システム学科 教授 小畠 秀和
		ハリス理化学研究所 助教 榎 太一
B 部門	心理的安全性の最近のトレンド	心理学部 教授 余語 真夫★
		経済学部 教授 八木 匡
		政策学部 教授 多田 実
		京都女子大学 現代社会学部 准教授 上野 大介
C 部門	生成 AI 時代における情報教育の実践と評価： 文理融合型アプローチによる教育現場からの挑戦	文化情報学部 准教授 深川 大路★
		文化情報学部 准教授 伊藤 紀子
		文化情報学部 准教授 飯尾 尊優
		文化情報学部 教授 阪田 真己子
		理工学部 情報システムデザイン学科 教授 大久保 雅史
		心理学部 教授 田中 あゆみ
D 部門	科学コミュニケーションの一方向的手段と 双方向的手段の特性について	文化情報学部 客員教授 岡田 暁生
		ハリス理化学研究所 助教 榎 太一★
		社会学部 メディア学科 准教授 阿部 康人
		金沢大学 人間社会研究域 地域創造学系 准教授 一方井 祐子
E 部門	薬剤耐性を克服した 新規 EML4-ALK 陽性肺がん治療薬の創製	生命医科学部 医生命システム学科 助教 高橋 美帆★
		脳科学研究科 教授 元山 純
		同志社女子大学 薬学部 教授 川崎 清史
		生命医科学部 医生命システム学科 教授 西川 喜代孝

★…各部門代表者

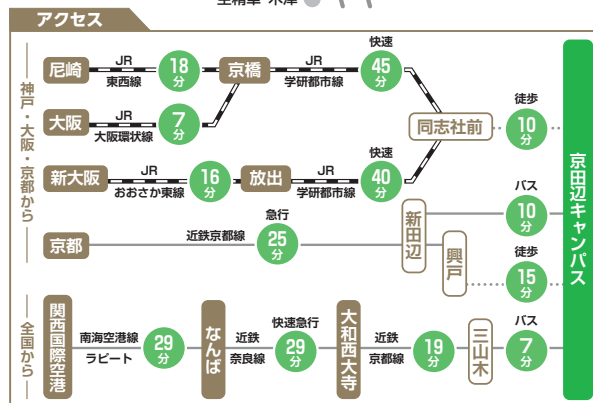
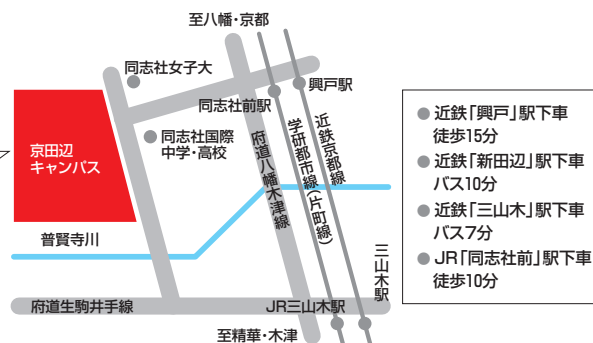
会場・アクセスのご案内



同志社大学 京田辺キャンパス

〒610-0394 京田辺市多々羅都谷1-3

発表会当日は、同志社大学クローバー祭と同時開催のため
一般市民の方も参加いただけます。



お問い合わせ 同志社大学 ハリス理化学研究所
TEL 0774-65-6220 FAX 0774-65-6804
E-mail jt-riko@mail.doshisha.ac.jp

- ・プログラム詳細は、一部変更になる可能性があります。
- ・詳細は、同志社大学ハリス理化学研究所ホームページにてご確認ください。
- ・開催当日の録音・録画・撮影は固くお断りいたします。

【主催】同志社大学ハリス理化学研究所

【後援】(公財)関西文化学術研究都市推進機構、京都府、京田辺市、木津川市、久御山町、精華町、井手町、(公社)京都工業会、京田辺市商工会、城陽商工会議所

日本経済新聞京都支社、京都新聞、日刊工業新聞社、(株)けいはんな、京都リサーチパーク(株)、同志社理工学会、同志社大学理工会、同志社大学リエゾンオフィス